

第2回例会報告（2017年9月発信）

いつのまにか、涼しげな風が吹くようになりました。秋の訪れを感じます。野球は今年もカープが優勝し、広島は盛り上がっています。

さて、広島支部では、第2回例会を9月23日（土・祝）（比治山大学附属幼稚園ホール）に行いました。

今回は約20人の参加者があり、リトミックの指導法について体験的に学びました。

講師は、馬杉知佐先生（比治山大学短期大学部講師）。

ただ身体を動かすだけ、ただ遊ぶだけから、どうすればリトミックの本質、つまり感覚統合に子どもたちを誘えるのか。馬杉先生の飄飄とした語り口を通して、切実に伝わってくるワークショップとなりました。





ある参加者（新任幼稚園教諭）より：

「今回の講習会では、リトミックとは何かということをより深く学ぶことができました。「リトミック」として成立させるには、いくつかの必要事項があり、それらを詳しく知ることができました。また、リトミックというものをより身近に感じられるようになりました。今までは実際にリトミックをすると、難しいという思い

が強かったけど、今回の講習会でその考え方を変えることができました。リトミックはあまり時間がなくても、またあまり場所がなくてもすることができます。保育の中にもリトミックは簡単に取り入れられます。

今回、「おつかいありさん」の曲を用いて、指遊びからリトミックのようなもの、そしてリトミックという流れで教えていただき、リトミックとして成立するまでの過程を体験することができました。

1曲だけでもアレンジしだいで、リトミックとしての広がりは無尽大だと気づかされました。

幼児期は感覚的成長が著しい大切な時期です。そのため、幼児期に聴覚や視覚、触覚などに多くの刺激を与えられるリトミックを行うことは大きな意味があるのだと感じます。

音楽のもつ力を最大限活かし、「楽しい」ということを大前提に、リトミックをより身近なものにしていきたいと思います」



次回、第3回例会は、11月23日（木・祝）比治山大学附属幼稚園ホールにて、おなじみの坂本真理子先生を講師に開催します。多数ご参加ください。